

平成25年度大型再処理施設放射能影響調査事業評価結果
(大型再処理施設放射能影響調査交付金事業企画評価委員会)

調査事業名	総合評価
①環境影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
[委員長とりまとめコメント] 中長期にわたる調査研究を行い、多岐にわたる研究課題について、計画どおり順調に進み、着実に成果を挙げており、また、新たな実験手法にも挑戦している。 福島原発事故の環境影響評価にも役立つ情報を発信して欲しい。成果が誰でも分かるよう広報されることを期待する。	
調査事業名	総合評価
②環境影響に関する調査研究 (公益財団法人日本海洋科学振興財団委託事業)	A
[委員長とりまとめコメント] 着実な成果が認められる。長期にわたって現場でのデータを蓄積しており、それに基づくモデルを開発し、高度化を行ってきているが、更に、精度を上げる努力をお願いしたい。 六ヶ所沖での海水の流れのモデルについて検討が必要であるという新たな課題が出てきたが、固有モデルの高度化を着実にやっている。このような長期のデータの蓄積、解析とモデル化は重要である。	
調査事業名	総合評価
③生物影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
[委員長とりまとめコメント] 順調に計画どおり、低線量率長期被ばくに関し、発がんリスク、がん免疫、継世代影響研究と体系的な研究計画を着実に進めている。 福島の原発事故により、たとえ低放射線被ばくでも、一般市民は不安を抱いており、本研究成果に期待を持っており、更なる研究成果とその広報を期待したい。	
調査事業名	総合評価
④小児がん等がん調査事業 (青森県健康福祉部所管事業)	A
[委員長とりまとめコメント] 地道なデータ収集をお願いしたい。東京電力福島第一原発事故後の調査の甲状腺がんについて、事故前のがん登録が為されていないために、いろんな誤解が生じている。したがって、この調査は極めて重要である。 甲状腺がんの罹患に関しては、今後も情報を集め、継続して調査をすることが大事であり、住民の不安を払拭できるよう期待する。 このような地道な調査は、他ではなされていない貴重な調査であり、長期間にわたる継続性が非常に重要である。これまでの成果を基に、更なる調査の継続は福島原発の今後の調査研究との比較検討が可能になる可能性がある。	

(参 考)

評価の視点	評価の尺度
(1) 優れた研究成果が上がっているか? (2) 地域の期待に応えているか? (3) 社会的ニーズに合致した成果が挙げられているか?	S : 想定を上回る優れた成果を挙げている。 A : 中長期計画に基づき、着実に成果を挙げている。 B : 中長期計画どおりに成果を挙げているとは言えない面もあるが、今後の取組みにより中長期計画に基づく成果を達成し得ると考えられる。 C : 中長期計画に基づき成果を挙げるためには、実施方法等の大幅な見直しが必要である。